

「二俣の城下町探訪講座」を開催しました！

浜松市文化財課では、2013年から継続的に二俣の城下町を古記録から復元するための調査を進めています。「二俣の城下町探訪講座」では、調査指導をお願いしている山村亜希先生（京都大学）を講師に迎えました。これまでの調査によって明らかになった二俣の城下町の構造について、「講演会」と「まちあるき」2部構成で紹介いただきました。

【講演会】講演会では、山村先生から城下町を古地図や絵図から復元する方法とその方法から復元できた二俣の城下町について紹介を頂きました。また、文化財課が行っている二俣城と鳥羽山城の調査の状況について紹介いたしました。

【まちあるき】古地図や絵図、城下町復元図をもとに、二俣の城下町をめぐるしました。二俣町の街並みは、現代の区画整理などによって新しくなった部分があります。いっぽうで、中世の町並みをうかがい知る痕跡も数多く残っています。

文化財課が催す講座を通じて、日常生活で何気なく通り過ぎていた場所に積み重ねられた歴史遺産に目を向け、地域への愛着や興味を深めていただけたらと思います。文化財課では今後も、新たな切り口で文化財の魅力を紹介する講座等を企画・開催していきますので、ホームページなどにご注目ください。



▲ 道標と小道

◀ 見学会の様子

文化財日記抄

11月

日	曜日	場所（区・町名）	内容
7日	（月）	東区宮竹町	宮竹野際遺跡予備調査
8日	（火）	中区西伊場町	梶子遺跡調査
9日	（水）	東区中郡町	万斛幼稚園発掘体験 参加27人

10日	（木）	東区笠井町	笠井下組み遺跡予備調査
17日	（木）	東区豊町	八ツ面遺跡予備調査
		中区元城町・松城町	元城町・松城町講演会、遺物展示 参加50人
27日	（日）	天竜区二俣町	二俣の城下町探訪講座② 参加50人
30日	（水）	南区東若林町	村裏遺跡予備調査

井伊谷周辺のオススメ文化財スポット

細江神社とその周辺

今月は、井伊谷を少し離れて細江神社とその周辺です。

細江神社は、由緒によれば、御神体が地震・津波により漂着しこれを祀ったことより「地震厄除の神様」として知られています。境内には、井伊谷三人衆近藤氏子孫の功績をたたえる「蘭草神社」や、恐々覗く「大蛇と大蝙蝠の戦いのクスノキ」など見所があります。

周辺には、関所（江戸時代、この周辺は気賀宿として整備されており、気賀関所が置かれていました。）の通行時間外でも犬のふりをして通り抜けることのできたと言う頓智のきいた抜け道「犬くぐり道」があります。ふと、信心深い犬が人間に生まれ変わる嘸「元犬」を思い出し、手拭いをかけておかないかと思ってしまう。また、銅鐸や民具を展示する「姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館」、国登録有形文化財「吉野屋」、市指定文化財「東林寺山門」など多くの文化財があります。細江神社とその周辺にはたくさん見所がありますので、ぜひ、お楽しみください。

犬くぐり道

細江神社の北側にあります。

※犬（のぬいぐるみ）は実際にはいません。



【細江神社へのアクセス】

- ★駐車場有。
- ★遠鉄バス「気賀・三ヶ日」行き「国民宿舎入口」バス停車、徒歩2分。
- ★天竜浜名湖鉄道「気賀」駅下車、徒歩6分。

編集
後記

先日、今年の「新語・流行語大賞」が発表になりました。「あった、あった」とこの一年を振り返りながら、既に忘れてしまっていたものも。この中で使い捨てにせず、定着し生き続けていくものは、あれ、去年の流行語大賞は。文化財の意味と重みを噛みしめた年の瀬。(ひ)